

CAM-2

ビデオカメラ/デジタルカメラ ボイスレコーダー 取扱説明書



Ver.1.0

Made in Korea

安全のための注意事項

- ・ 本説明書は使用者の財産に損害を与えないためのものです。使用前に必ず、お読みになってからご使用ください。
- ・ 本製品の使用で発生した損害及び第3者からの賠償請求については弊社は一切責任を負いかねます。
- ・ 故障、修理その他理由による「保存内容(録画、録音、写真)」の損失について、弊社は一切責任を負いかねます。

注意・警告



警告

- ・ 本体を分解・改造しないでください。火災や故障の原因となります。
- ・ イヤホンで長時間使用すると、聴力や耳によくない影響を及ぼす恐れがあります。
- ・ 低温、高温で使用しないで下さい。結露現象により、漏電による火災や故障の原因となります。
- ・ 湿気が多い場所や、ガソリンの近くに置かないで下さい。火災や故障の原因となります。



注意

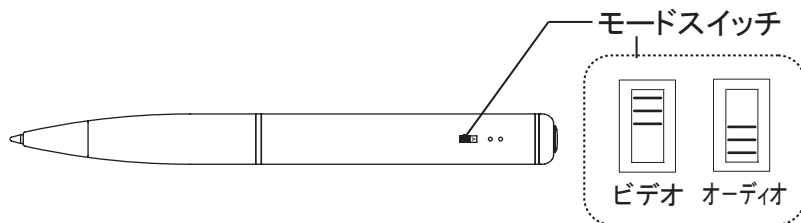
- ・ 製品に衝撃を与えたり、落としたりしないで下さい。故障の原因となります。
- ・ アルコール、ベンゼン、シンナーなどで拭かないで下さい。
- ・ 運転中や歩行中には使用しないで下さい。交通事故の恐れがあります。

※警告 / 注意 表示の意味

表示	名称	意味
	警告	誤った操作で、使用者が怪我をしたり、機器の故障・破損する恐れがある。
	注意	誤った操作で、使用者が怪我をしたり、機器の誤作動する恐れがある。

モードの切り替え

- 1) モードスイッチで、録画(ビデオ)モードと、録音(オーディオ)モードに選択できます。(モードの切り替えは必ず、電源をOFFにしてから行なって下さい。)
- 2) モード別動作詳細
 - 録画(ビデオ)モード : 動画録画 / 動画再生 / 写真撮影
 - 録音(オーディオ)モード : 音声録音 / 音声再生



動作ランプ

「動作ランプ」は機器の動作状態を表示します。

- 1) 機器の動作状態表示
 - 録音モード : 録画及び、録音の際は動作ランプが緑色に1.5秒に1回点滅します。充電が必要な場合は「赤色」に点滅します。
 - 再生モード : 動画の再生、及び録音の再生時、動作ランプが「青色」と1.5秒に2回点滅します。充電が必要な場合は「赤色」に点滅します。
 - 充電モード : 充電中は動作ランプが赤色に点灯され、充電が完了すると緑色に変わります。
 - エラー状態 : 動作ランプが赤色に点滅します。
- 2) 電池の残量表示: 動作中に充電が必要な場合は、動作ランプが「赤色」に点滅します。(動画録画の際は、約10分以下使用可能)

再生する

テレビにつないで、再生する

- 1) 下記の絵のように付属の「ビデオケーブル」を本体とテレビにつなぎます。(黄色:映像入力端子へ、白・赤:オーディオ入力端子につなぎます。)
- 2) モードスイッチを録画(ビデオ)モードにします。
- 3) 動作ボタンを押します。電源が入り、動作ランプが緑色に点灯後、青色に点滅されながら再生されます。
- 4) 再生順番は、一番新しい録画データから順番で再生されます。
- 5) 動画の再生中に、動作ボタンを連続して2回(1秒以内に2回)押すと、再生を止め、再生中だった前のデータを再生します。
- 6) 再生中に動作ボタンを長押しすると、停止し電源が消えます。



イヤホンで録音データを聞く

- 1) 上の絵のように、付属のイヤホンを本体につなぎます。
- 2) モードスイッチを録音(オーディオ)モードにします。
- 3) 動作ボタンを押します。電源が入り、動作ランプが緑色に点灯後、青色に点滅されながら再生されます。
- 4) 再生順番は、一番新しい録音データから順番で再生されます。
- 5) 再生中に、動作ボタンを連続して2回(1秒以内に2回)押すと、再生を止め、再生中だった前のデータを再生します。
- 6) 再生中に動作ボタンを長押しすると、停止し電源が消えます。

外部電源で録画する

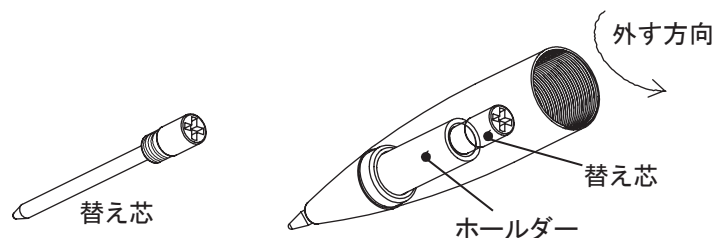
外部電源(携帯充電パック、パソコンのUSBポート、USBアダプタ)にUSBケーブルをつないで、長時間録画・録音(メモ리카ードの容量内)が可能です。

- 1) 付属のUSBケーブルを本体とパソコン、または携帯充電パック、ACアダプタにつなぎます(電池充電する参照)。
- 2) 充電動作中、動作ボタンを1回押すと、USB接続が解除され、モードスイッチによる動作を始めます。(録画、録音)
- 3) 外部電源を使用して録画、録音をするため、メモリがいっぱいになるまで録画、録音を始めます。

替え芯の交換

本機器はボールペンの芯が交換できます。下記の図のように芯を交換してください。

- 1) 本体から、芯が入っているケースを分離します。
- 2) 下記の図のように芯の上は「+」形となっております。ドライバで反時計方向に回して芯を取り外して下さい。



- 3) 交換する新しい芯を入れ、ドライバで時計方向に回して取付ください。
※あまり強く回すと芯が壊れる場合がございますので注意して下さい。

ファームウェアのアップグレード/時間設定

ファームウェアのアップグレード

- 1) 最新のファームウェアを当店のHPからダウンロードします。
- 2) 本体にmicroSDカードを取り付けて、パソコンとつなぎます。
- 3) ダウンロードしました「ファームウェア」をmicroSDカードの最上位フォルダにコピーします。
- 4) USBケーブルを分離すると、本体が再起動しながら、自動的にファームウェアをアップグレードします。(ファームウェアのアップグレードは約10秒ほどかかり、動作ランプが赤色に点滅します。)
- 5) ファームウェアのアップグレードが終了すると、電源が消えます。

時間設定

- 1) 本体にmicroSDカードを取り付けて、パソコンとつなぎます。
- 2) ウィンドウズの「メモ帳」を開き、「名前をつけて保存する」を選択し、ファイル名を「date_time.cfg」にして、microSDカードの最上位のフォルダに保存します。

時間設定ファイルの作り方

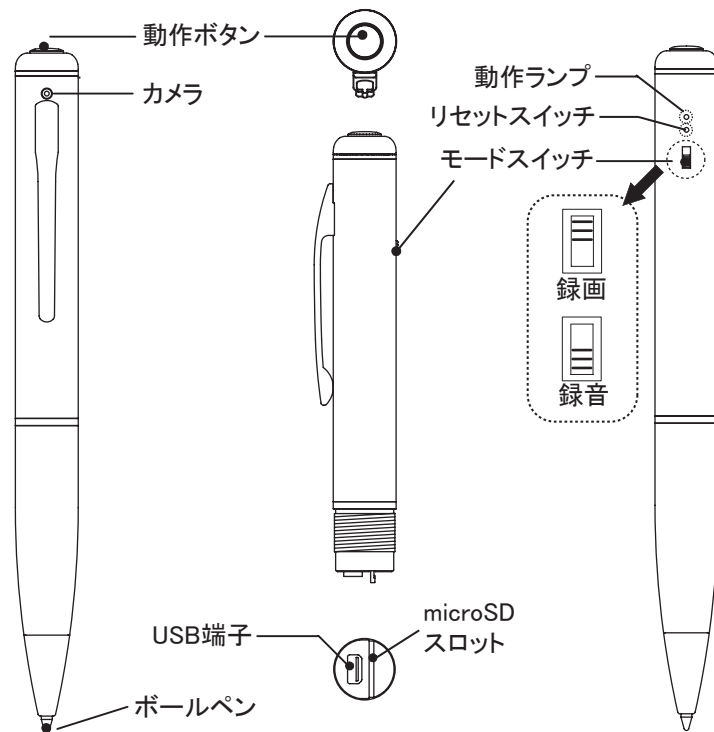
- ① ウィンドウズの「メモ帳」を立ち上げます。
- ② 0000年 00月 00日 00時 00分 00秒と入力します。
(年、月、日、時、分、秒の間は「半角スペース」で空けます。)
- ③ 「ファイル」から、「名前を付けて保存する」をクリックします。
- ④ 保存する場所を、リムーバブルディスク(本体のmicroSDカード)を選択します。
- ⑤ 「ファイルの種類」欄を「全てのファイル (*.*)」を選択します。
- ⑥ 「ファイル名」を「date_time.cfg」と記入しまして「保存」ボタンをクリックします。



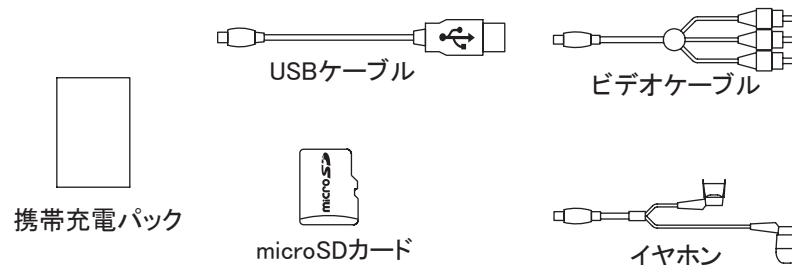
- 3) 本体からUSBケーブルを外すと、機器が「再起動」して、時刻が設定されます。
- 4) 時刻の設定が終了すると、電源が自動的に消えます。

部位別名称

本体



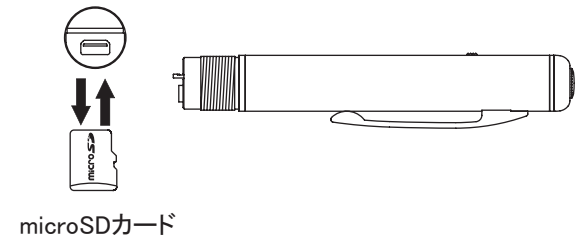
付属品



※最初は、使用前に必ず充電してください。

microSDカード

- 1) 本機器は内蔵メモリがありません。付属（もしくは別途購入）microSDカードを差し込んで下さい。
- 2) microSDカードを差し込む際には、奥までしっかりと差し込んで下さい。スロットから5mmほど外に出っ張る状態になります。
- 3) microSDカードを抜き取るには、出っ張っているmicroSDカードの部分を爪で軽く引くと抜けます。



ファイルの管理、ファイルの削除

録画・撮影・録音ファイルについて

- 1) 動画の録画ファイルの「VIDEO」フォルダに“MP4”型式で、ファイル名はV_0001からV_9999までの自動連番で保存されます。
- 2) カメラで撮影した写真データは「CAPTURE」フォルダに“JPG”型式で、ファイル名はC_0001からC_9999までの自動連番で保存されます。
- 3) 録音ファイルは「AUDIO」フォルダに“MP3”型式で、ファイル名はA_0001からA_9999までの自動連番で保存されます。

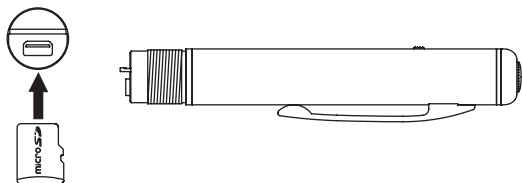
ファイルの管理/削除

- 1) microSDカードを本体に差し込んで、付属のUSBケーブルでパソコンとつながります。
- 2) マイコンピユーターなどで、microSDカードに保存されたファイルの確認、ダウンロード（パソコンへ保存）、削除ができます。

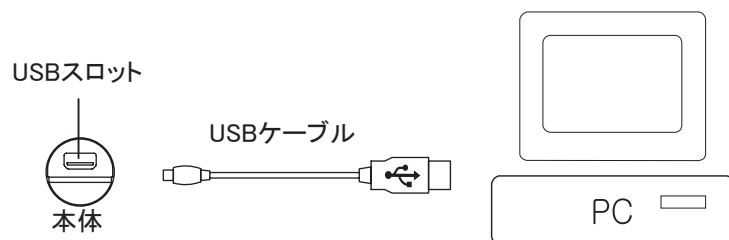
パソコンで再生する

録画データをパソコンで再生する

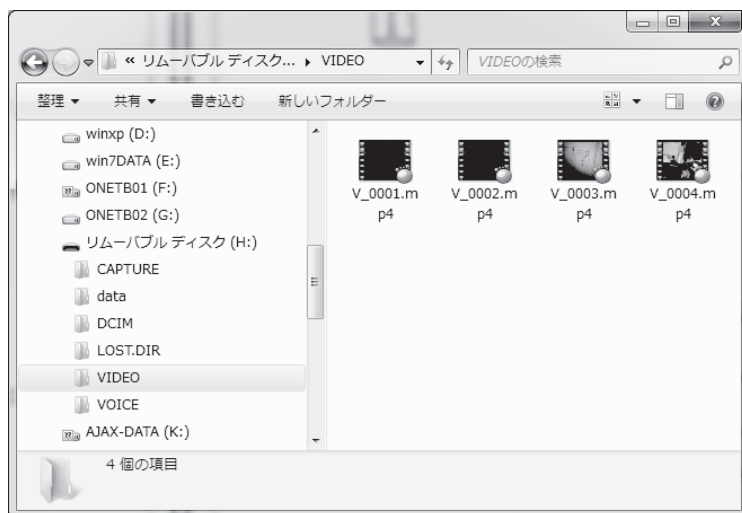
1) microSDカードを本体に取り付けます。



2) 付属のUSBケーブルで、本体とパソコンを接続します。



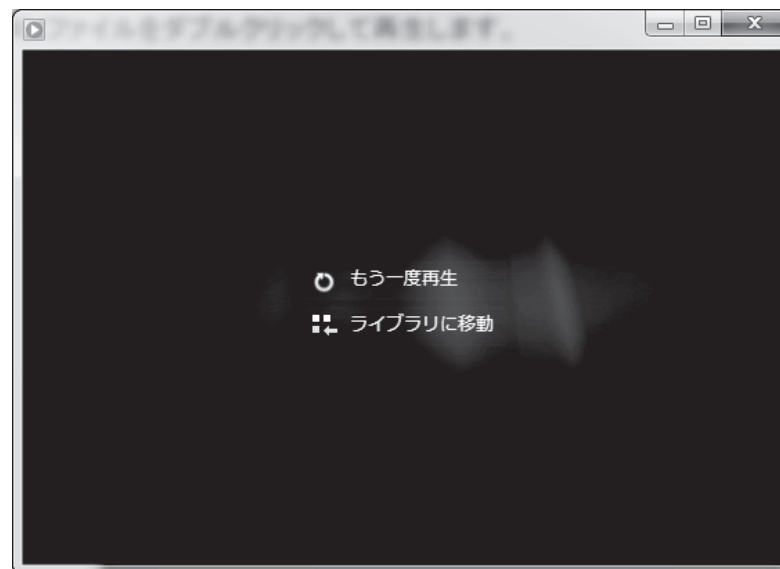
3) 「マイコンピューター」→「リムーバブルディスク」→「VIDEO」フォルダをクリックします(自動再生の場合「フォルダを開いて、ファイルを表示」を選択します)。



4) ファイルをダブルクリックして再生します。

再生アプリケーションは「ウィンドウズメディアプレイヤー、ゴムプレイヤー等一般の動画プレイヤーで再生されます。動画再生の際に音声聞こえない場合は、「コーデック」をダウンロードしてインストールすれば、再生されます。

※カメラで撮影した「写真」は、「CAPTURE」フォルダの中にあります。



録音データをパソコンで再生する

1) microSDカードを本体に取り付けます。

2) 付属のUSBケーブルで、本体とパソコンを接続します。

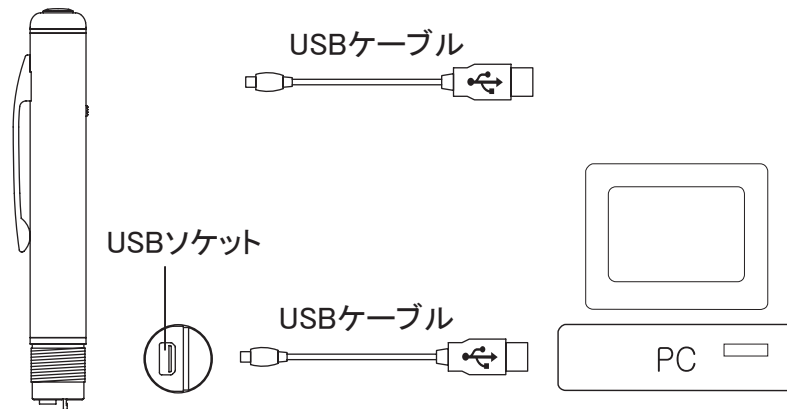
3) 「マイコンピューター」→「リムーバブルディスク」→「AUDIO」フォルダをクリックします(自動再生の場合「フォルダを開いて、ファイルを表示」を選択します)。

4) ファイルをダブルクリックして再生します。

再生アプリケーションは「ウィンドウズメディアプレイヤー、ゴムプレイヤー等一般の動画プレイヤーで再生されます。

充電する

- 1) 付属のUSBケーブルを本体とパソコン、もしくは本体とUSBアダプタ(別売)をつないで下さい。
- 2) 充電中は動作LEDが「赤」で点灯し、充電が完了すると「緑」に点灯します。
- 3) 通常充電が完了するまで約2時間ほどかかります。



初期化する

本体が誤動作・誤動作する場合は、ピンなど尖ったものでリセットスイッチを押すと、初期化されます。



操作方法

動画を録画する

- 1) モードスイッチを録画(ビデオ)モードにします(ツマミを上上げる)
- 2) 動作ボタンを押します。
- 3) 電源が入り、動作LEDが緑色に約5秒間点灯、3秒間点滅後、動作LEDが青(赤)に点滅して録画が始まります。
- 4) 動画の録画中に動作ボタンを長押しすると、青に点灯・点滅して録画を止めて電源が消えます。
- 5) 連続10分以上録画した場合は、10分以降の録画データは新しいファイルとして保存されます。

カメラを撮影する

- 1) モードスイッチを録画(ビデオ)モードにします(ツマミを上上げる)
- 2) 動作ボタンを押します。
- 3) 電源が入り、動作LEDが緑色に約5秒間点灯後、3秒間点滅します。点滅している3秒の間に、再び動作ボタンを押します。
- 4) カメラ撮影が始まり、青(赤)LEDが点滅しながら、2秒間隔で1カットを撮影します。
- 5) カメラ撮影は、2秒間隔で5カットを撮影後、自動的に電源が消えます。

音声を録音する

- 1) モードスイッチを録音(オーディオ)モードにします(ツマミを上を下げる)
- 2) 動作ボタンを押します。
- 3) 電源が入り、動作LEDが緑色に約2秒～3秒間点灯後、青色に点滅してから録音を開始します。
- 4) 録音中に動作ボタンを長押しすると、録音を終了し電源が消えます。

※ 動画の録画/カメラ撮影/音声録音の前には、必ず、microSDカードを挿入してください。

※ 動作中にmicroSDカードを抜き取らないで下さい。
誤動作と故障の原因となります。

必ず、電源が消えたことを確認してから、microSDカードを抜き取って下さい。

仕様

項目	仕様	
モデル名	CAM-2	
最大録画時間	4GB : 4時間	8GB : 8時間
最大録音時間	4GB : 65時間	8GB : 130時間
動画品質	MP4 640×480 / AAC 48kbps、mono	
音声品質	MP3 128kbps、mono	
映像出力	NTSC	NTSC
サイズ	13mm(D) × 140mm(H)	
重量	36g	36g
記録媒体(メモリ)	microSDカード(～32GBまで)	
電池	Built in Lithium-Polymer BAT, DC3.7V 160mAh	
外部入力電源	DC 5V 0.8A	
電池持ち時間	録画 : 最大1時間	録音 : 最大1時間30分
使用環境	0° ~ 40° C	

※製品の仕様及び外観は品質向上のため、予告なく変更される場合がございます。 予めご了承下さい。

B級機器「家庭用放送通信機器」

この機器は家庭用(B級)電磁波適合機器で主に家庭での使用を目的とし、全ての場所でお使いいただけます。

輸入販売社 : (株)AJAX <http://www.ajaxjp.com>

埼玉県吉川市高富958-5

TEL: 048-972-6650 FAX: 048-972-6651

生産地: 韓国

認証番号: KCC-REM-GHT-K7Smart(B)(韓国国内)



保証書

1. 本製品は厳重な品質管理と検査で生産しています。
2. 通常状態で使用した場合、保証期間以内に発生しました故障の場合、無償で修理します。
(無償保証期間は、ご購入日から6ヶ月間です。)
3. 無償保証の対象は本体のみとなります。
※付属品(イヤホン、ケーブルなど)は保証外となります。
4. 保証期間が過ぎても、有償サービスをご希望の場合は、所定の修理費用をいただきます。
5. 製品の故障と疑われる場合は、ご購入先もしくは弊社までご連絡ください。

製品名	Digital Camcorder		
モデル名	CAM-2		
購入日	年 月 日	保証期間	6ヶ月
購入先			
電話			
お客様	住所		
	氏名		
	電話		

有償サービス

- 取り扱い・不注意による故障
- 使用者任意の解体による故障
- 火災、水害、地震などの天災による故障
- 保証期間過ぎの故障